

1～4号機地中線量測定結果

2025年12月25日

業務概要

【1. 業務目的】

1～4号機周辺の地中線量を測定し汚染マップ作成用データを収集する。

【2. 測定日】

2024年1月～2025年10月

【3. 測定種別】

空間線量当量率・表面線量当量率

【4. 受注者】

【5. 委託期間】

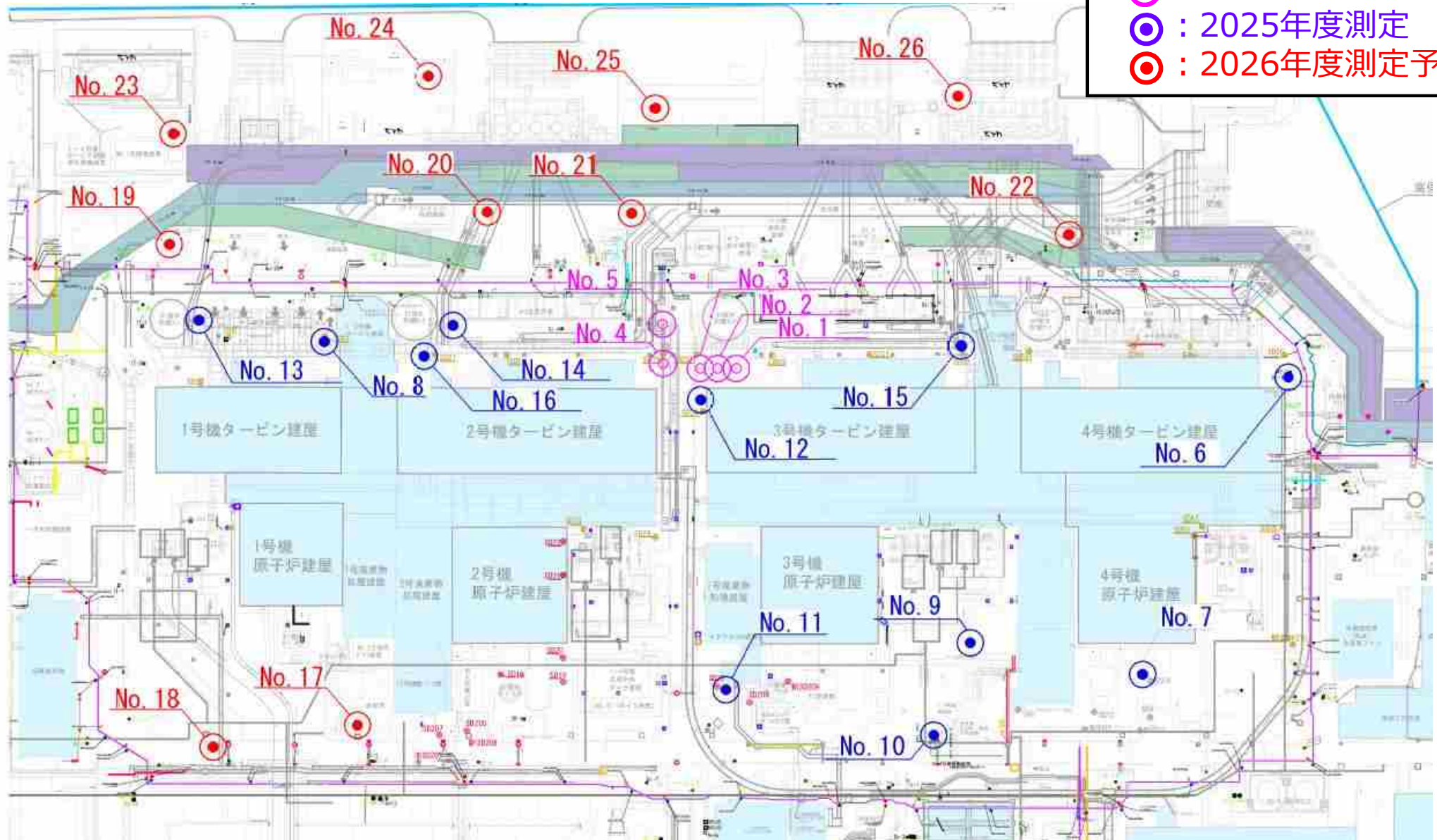
2024年 1月～2024年12月: 1F 1～4号機地中線量測定業務委託(2024年)

2024年10月～2025年10月: 1F 1～4号機地中線量測定業務委託(2025年)

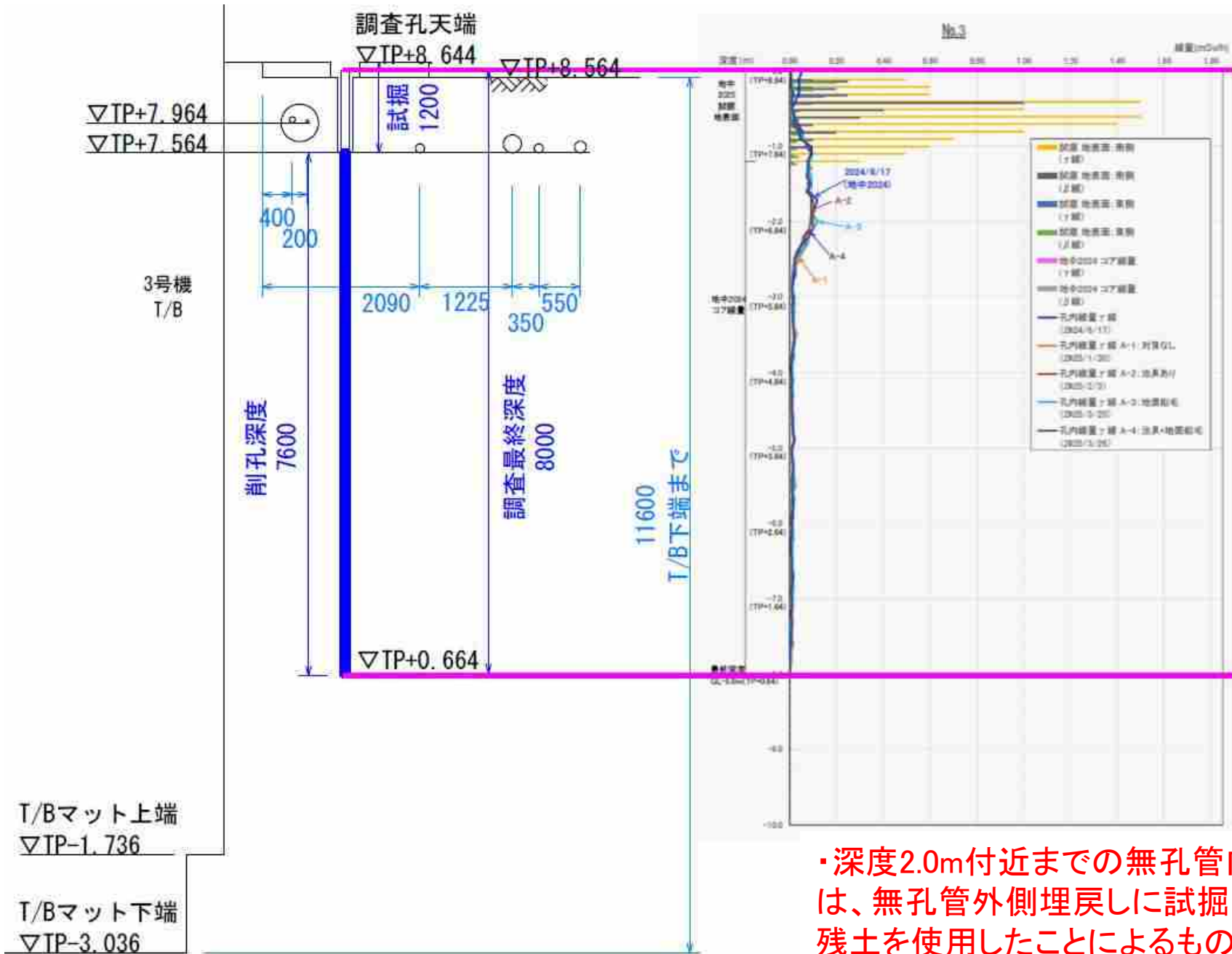
測定位置

2025年10月までに16箇所の地中線量測定を行った。以下に測定位置を示す。
No.1は地中支障物のため、削孔出来ず測定を行っていない。

- ⊙ : 2024年度測定
- ⊖ : 2025年度測定
- ⊕ : 2026年度測定予定

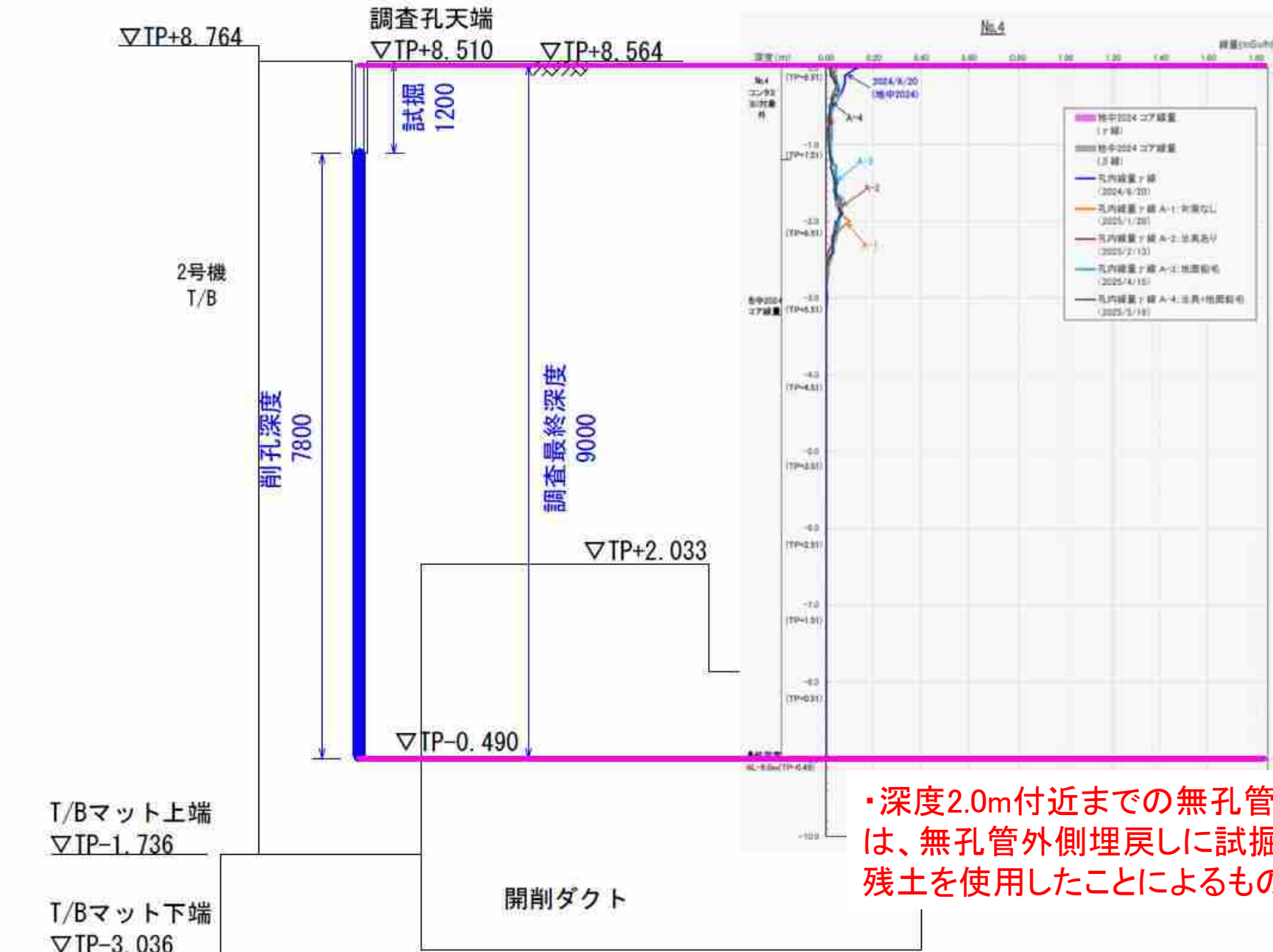


測定結果 No,3(2024年度/2025年度)



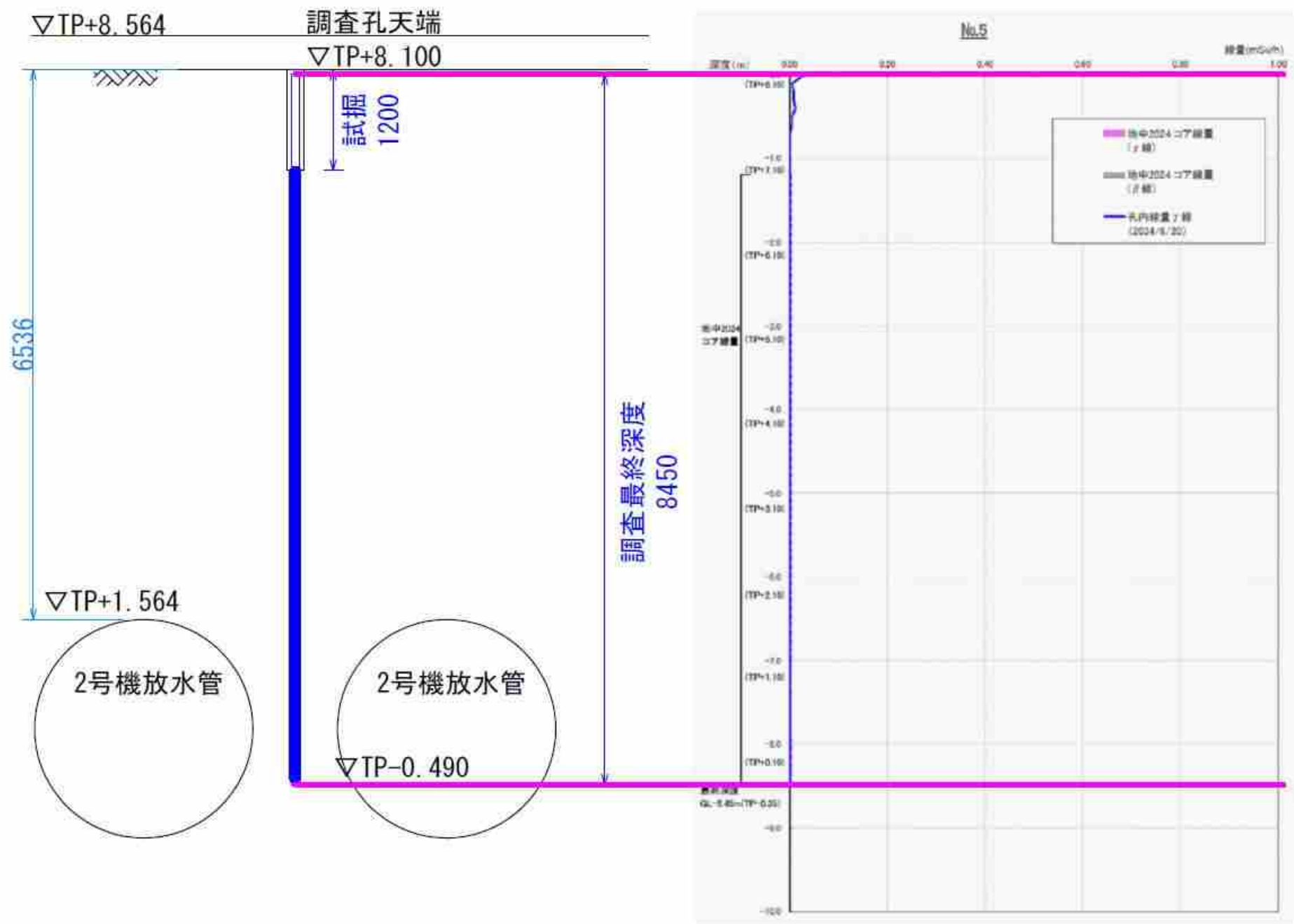
・深度2.0m付近までの無孔管内線量が高いのは、無孔管外側埋戻しに試掘時の線量の高い残土を使用したことによるものと推定。

測定結果 No.4(2024年度/2025年度)

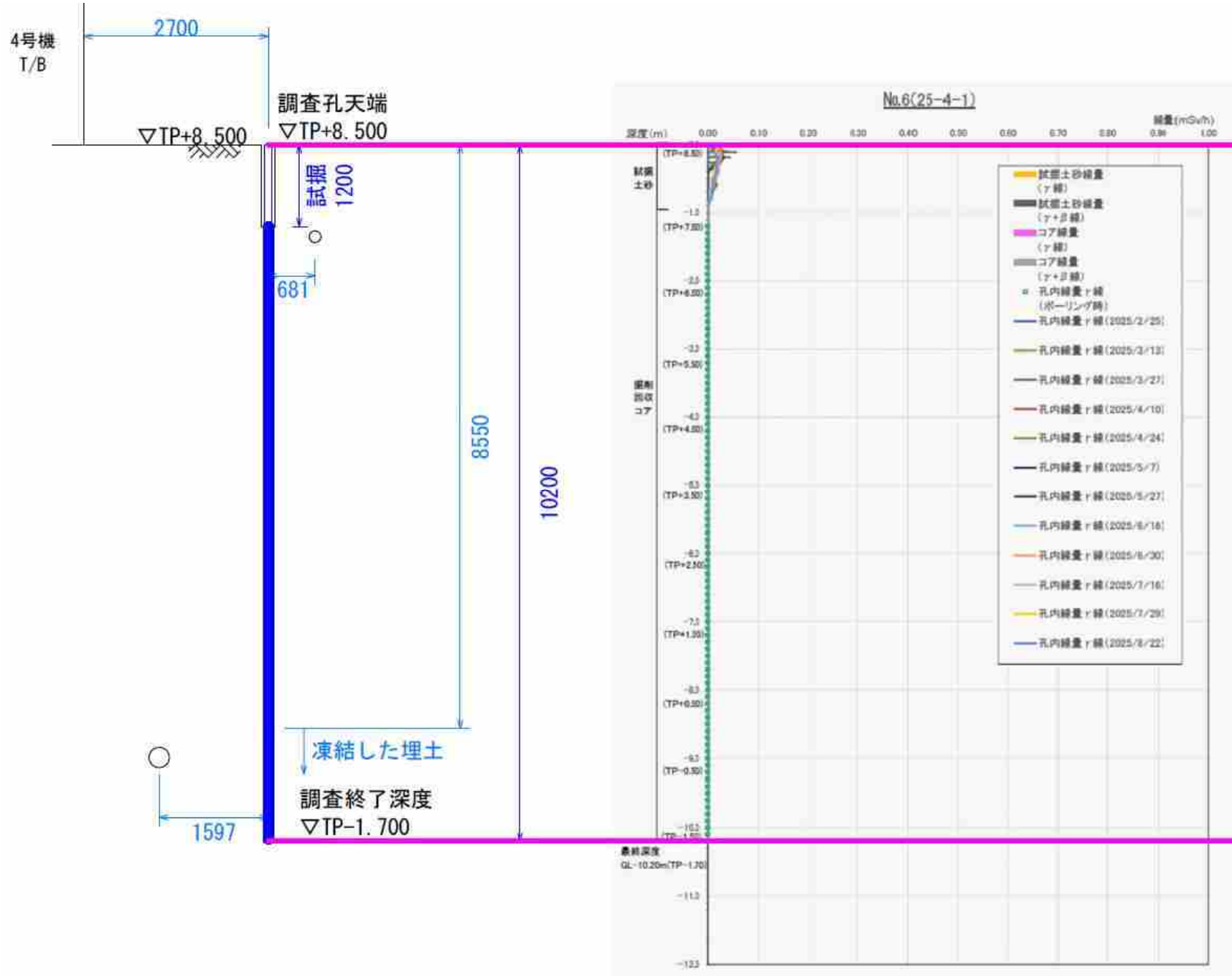


・深度2.0m付近までの無孔管内線量が高いのは、無孔管外側埋戻しに試掘時の線量の高い残土を使用したことによるものと推定。

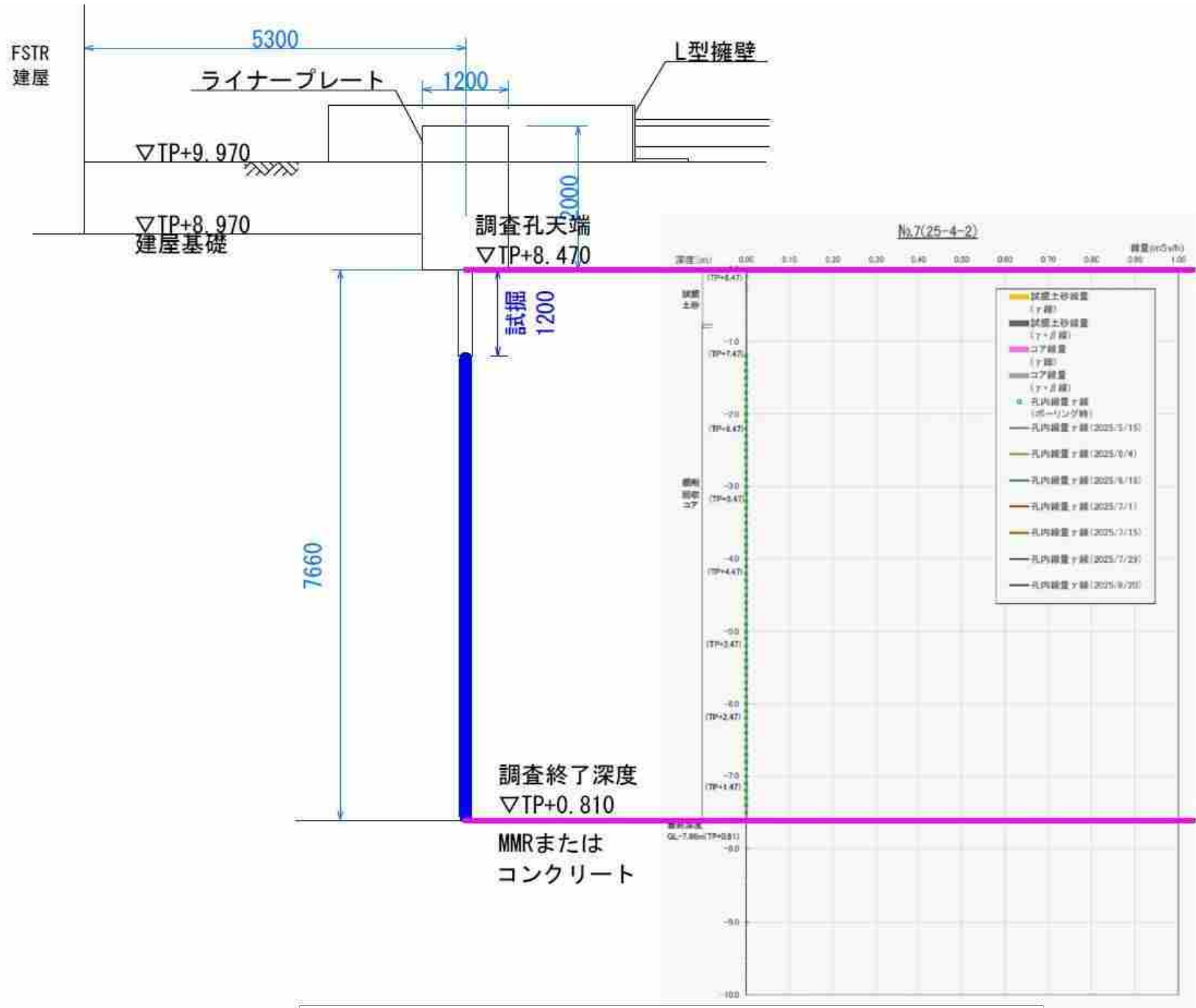
測定結果 No.5(2024年度)



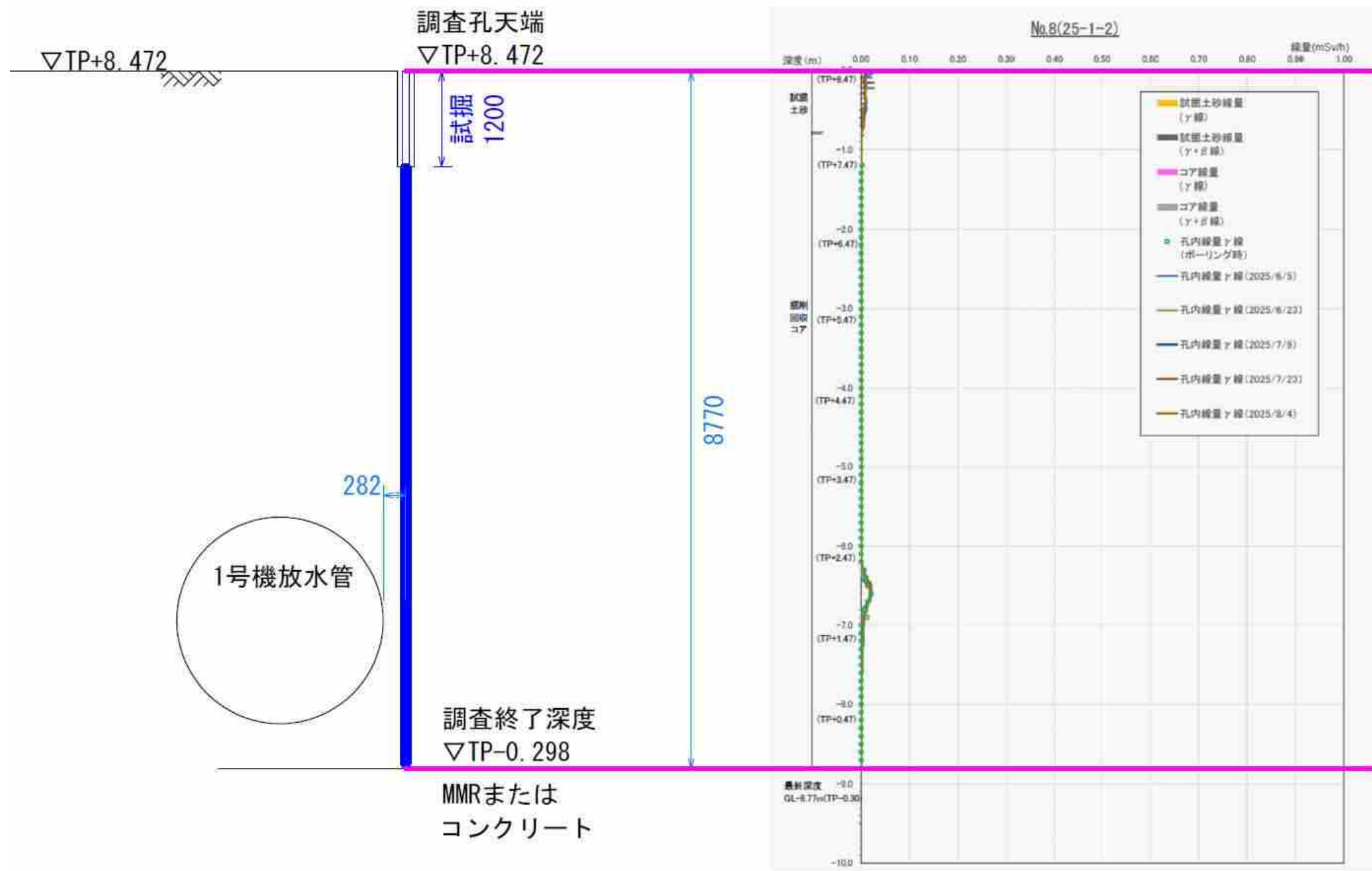
測定結果 No.6(2025年度)



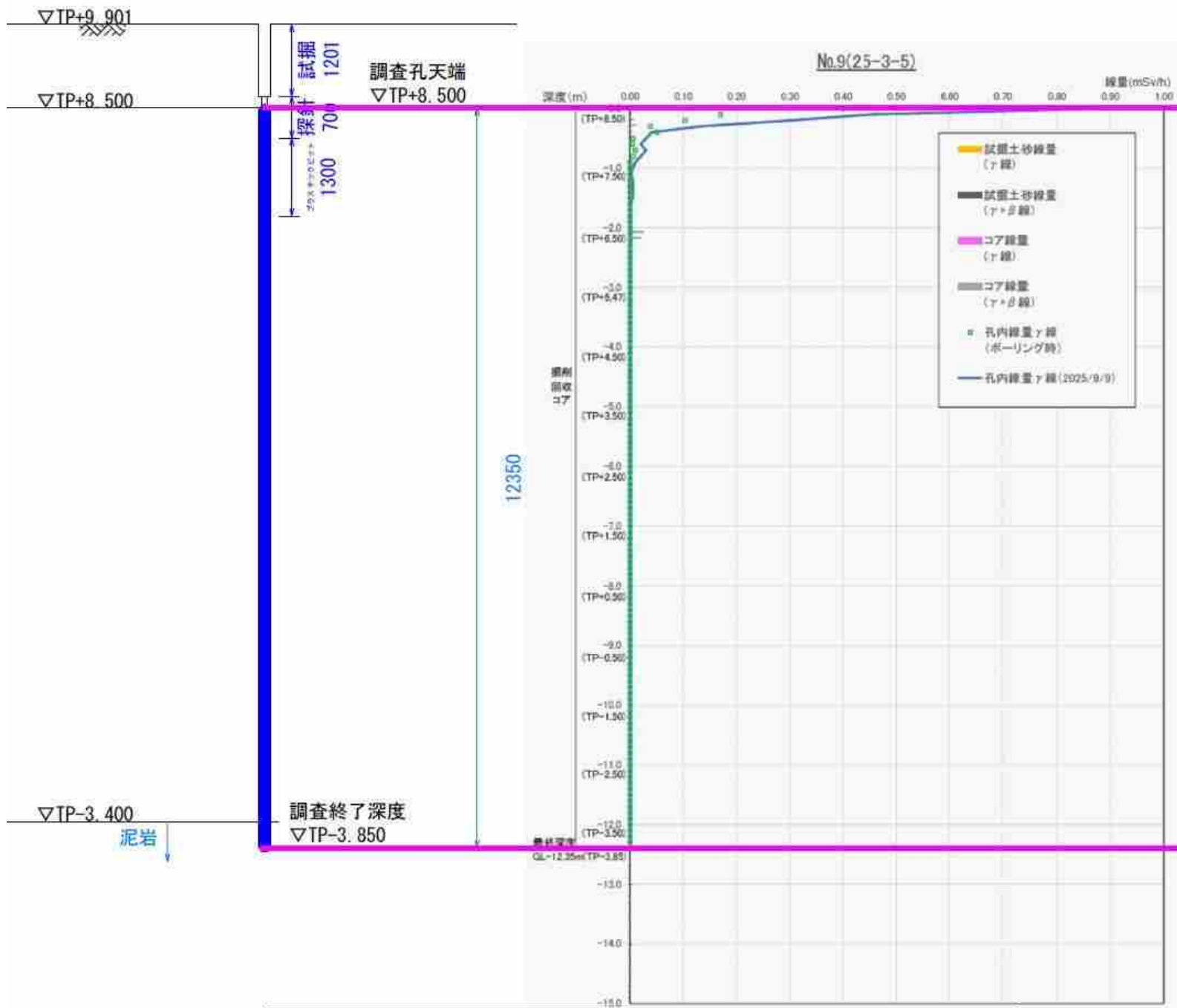
測定結果 No.7(2025年度)



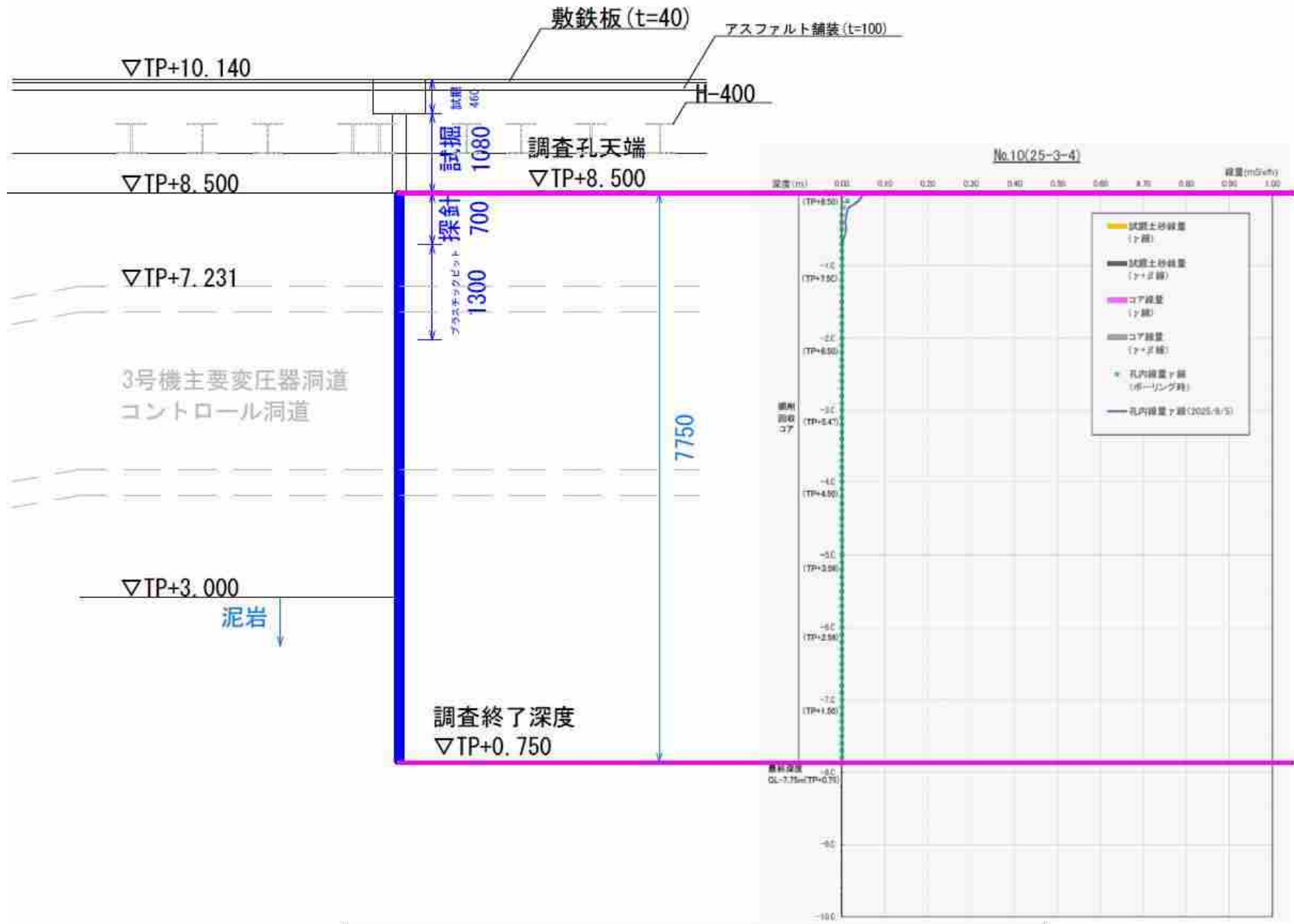
測定結果 No.8(2025年度)



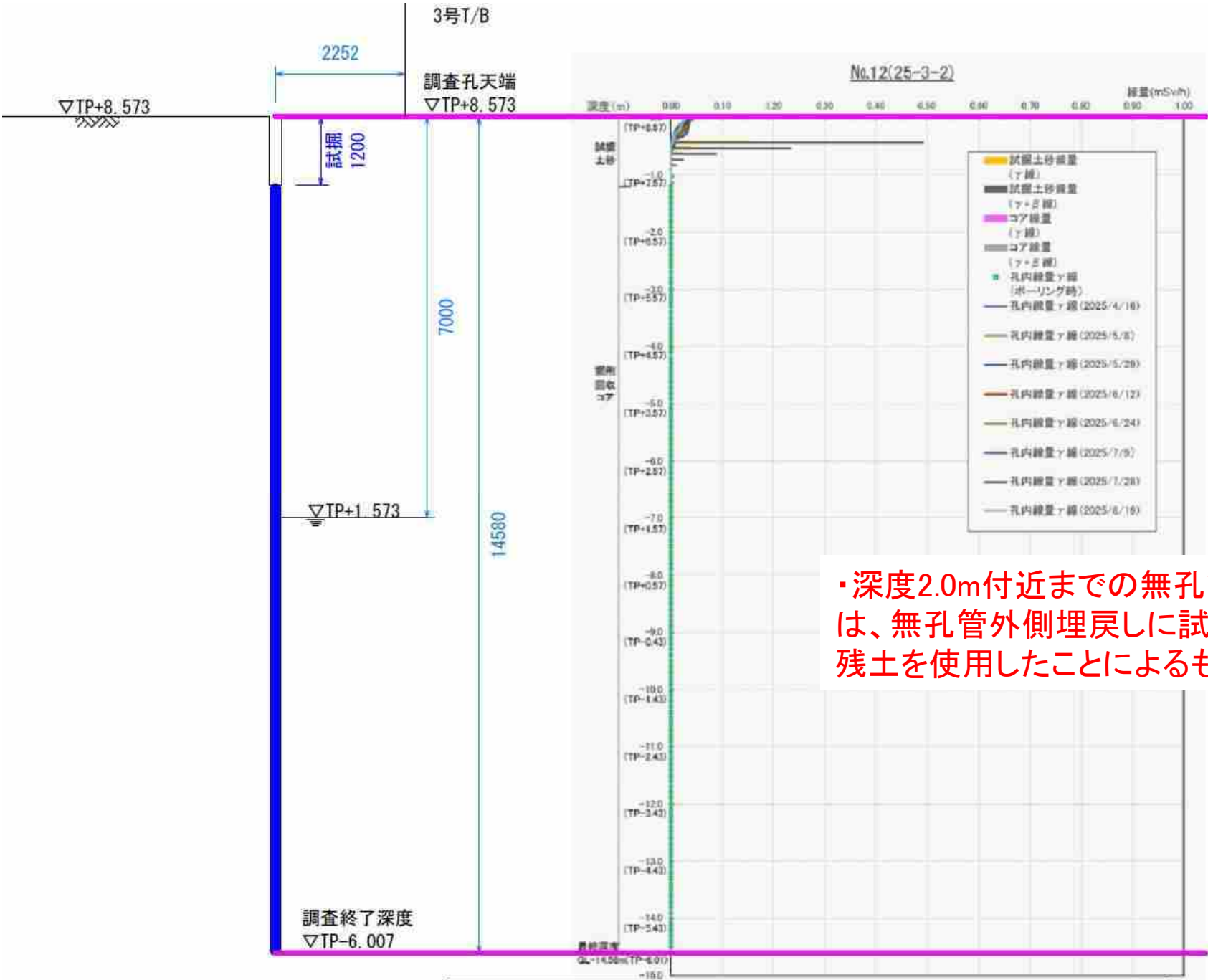
測定結果 No.9(2025年度)



測定結果 No.10(2025年度)



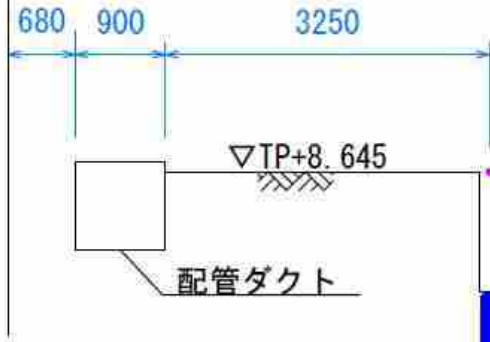
測定結果 No,12(2025年度)



・深度2.0m付近までの無孔管内線量が高いのは、無孔管外側埋戻しに試掘時の線量の高い残土を使用したことによるものと推定。

測定結果 No,13(2025年度)

1号機復水
貯蔵タンク



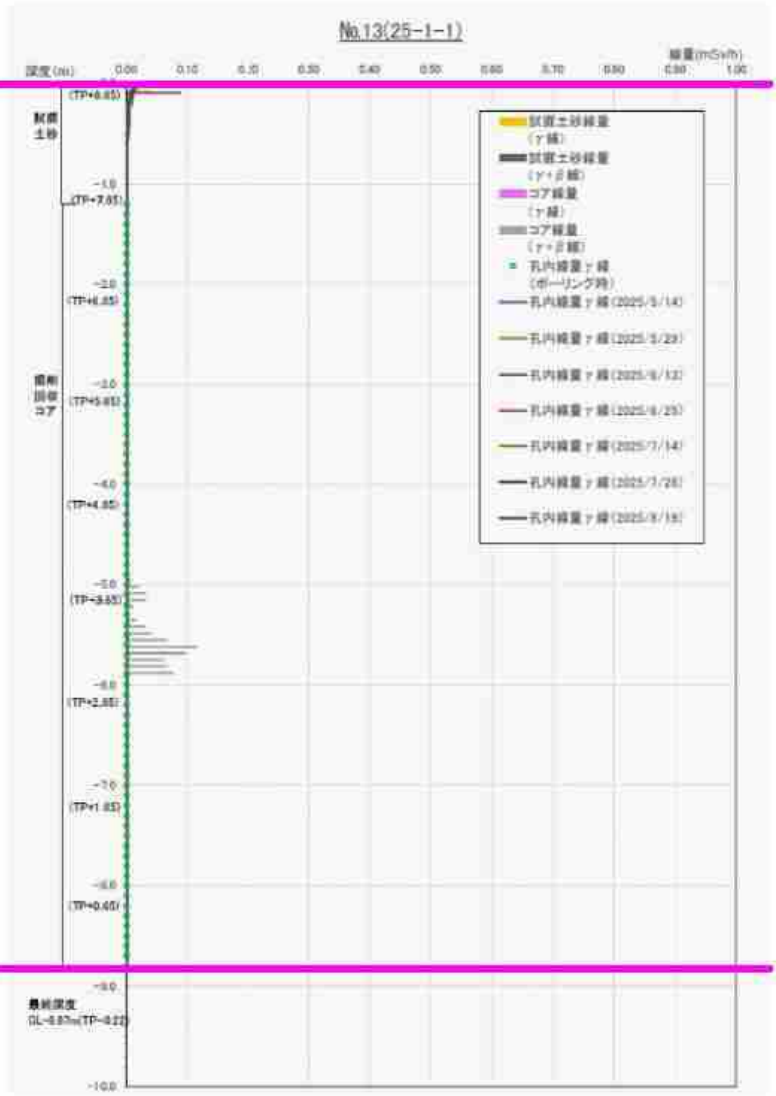
調査孔天端
 $\nabla TP+8.645$

試掘
1200

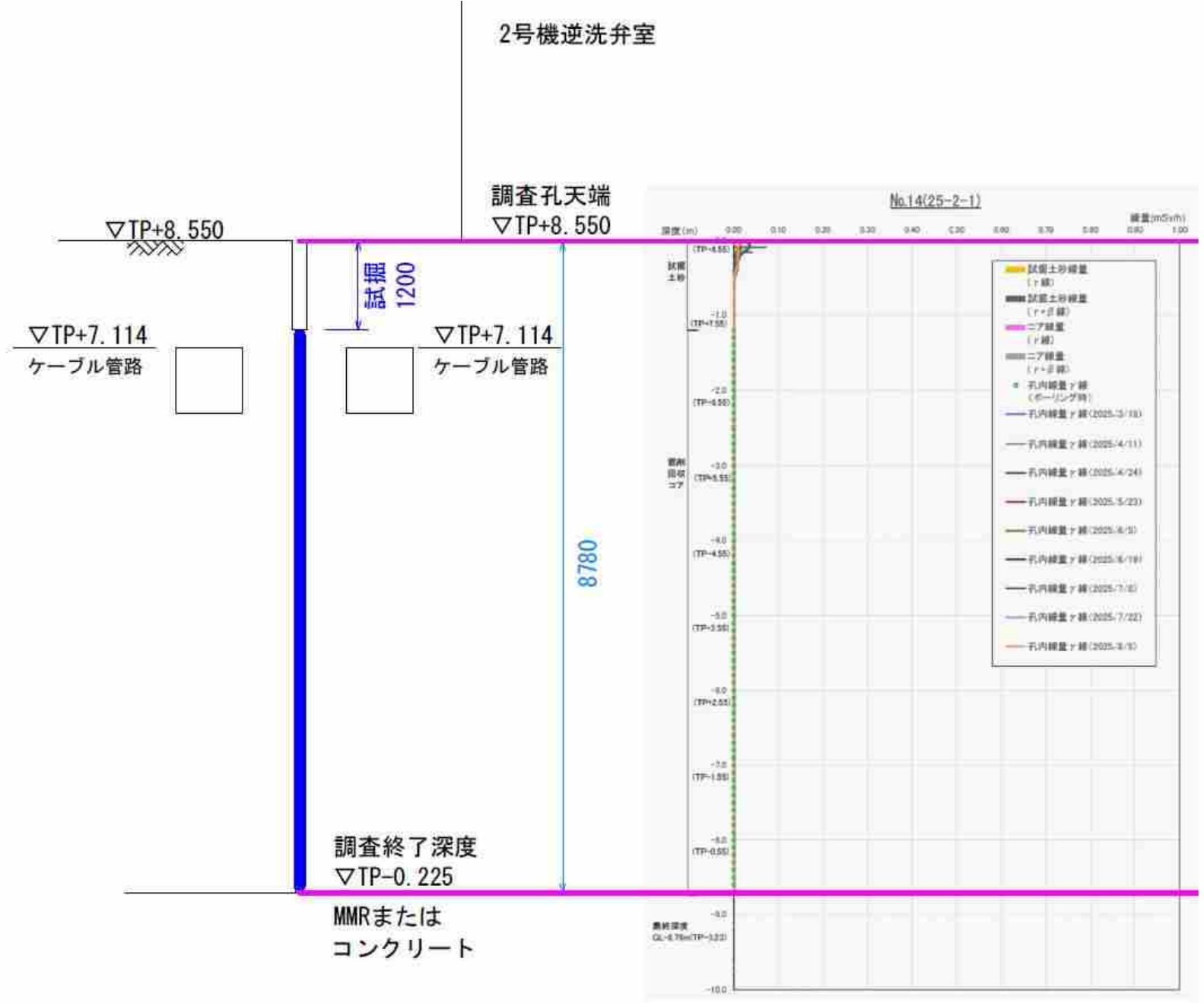
8870

調査終了深度
 $\nabla TP-0.225$

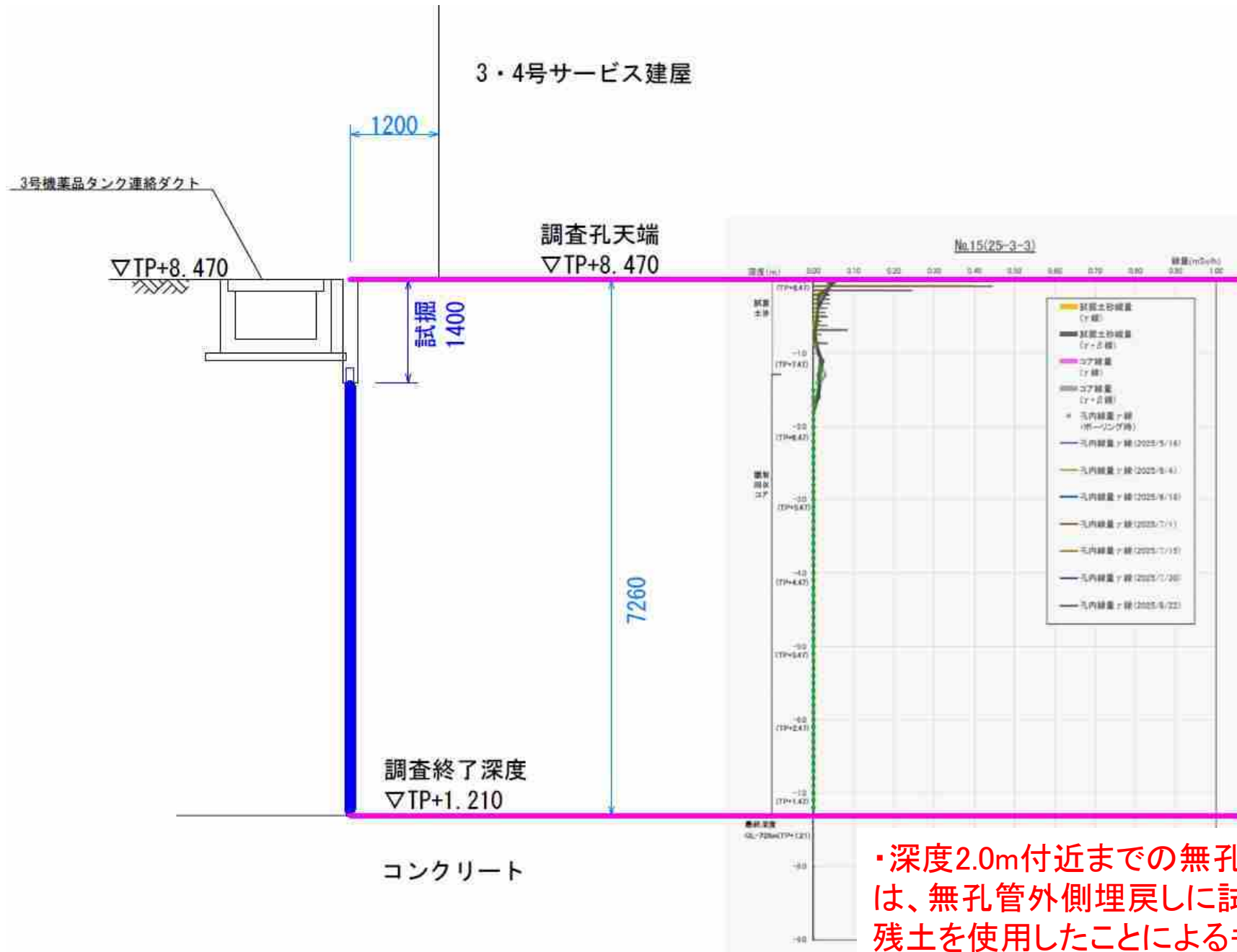
MMRまたは
コンクリート



測定結果 No,14(2025年度)



測定結果 No.15(2025年度)



・深度2.0m付近までの無孔管内線量が高いのは、無孔管外側埋戻しに試掘時の線量の高い残土を使用したことによるものと推定。

測定結果 No.16(2025年度)

